

広島別院だより

Vol. 2

真宗大谷派（東本願寺）
広島別院教化委員会発行

教区同朋会館・広島別院上棟式を執行



去る九月二日、

山陽教区同朋会館・広島別院の上棟式が執行されました。工事も一月末の完成に向けて順調に進み、鉄骨・屋根の工事を終え、ちょうど中間点。式には山陽教区同朋会館建設

委員をはじめ、関係者三十名の列席のもと厳かな式となりました。河野教明建設委員会副委員長は、「長年、地元の悲願であった別院再建の上棟式に皆様と共に参加できたことに感謝します」と。

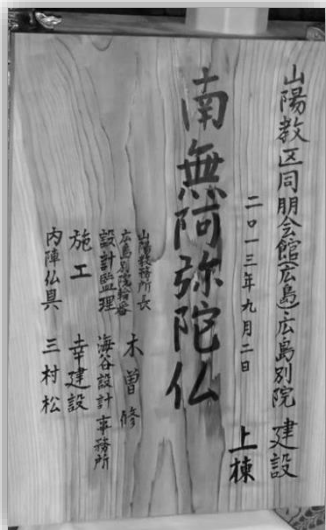
続いて木曾修山陽教務所長・広島別院輪番は「この同朋会館・広島別院は教区西側の教化拠点として大変重要であり、来年の御遠忌法要を機縁に真宗門徒の聞法道場となるよう準備を進める」と挨拶し、施工業者に対しては「くれぐれも事故の無いよう慎重に作業を進めてほしい」と要望して上棟式を締めくくりました。

そして、木曾所長の揮毫による棟札は式終了後、別院屋根裏におさめられました。

広島別院建設の（今）



主要部分の工事は終わり、10月から内装工事がはじまります。



屋根裏におさめられた棟札

お寺の活動いろいろ

こうんぎさんこうじきょう

山陽教区御遠忌讚仰事業「ライブ・イン浄土の真宗」

六月八日 十日市コミュニティセンター(芸備組主催)

「♪…重くのしかかる原発銀座…♪」

「♪…きょうともしらず あすともしらず 危うい いのちを生きている…♪」

六月八日、会場に響きわたった歌声です。広島別院では来年十月二・三日に親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を勤めます。その法要に向けて、山陽教区御遠忌讚仰事業「ライブ・イン浄土の真宗」が三次市で開催されました。



開会行事・勤行中の散華



奏で 歌い 語る 僧2人…

勤行後、メインイベントのコンサートでは、近藤龍磨(岐阜・廣専寺住職)・天白真央(愛知・浄妙寺住職)両氏の歌声と軽妙なトークに、会場を埋めた百七十名の参加者は大いに沸きました。

この行事を企画した寺川大雅芸備組組長は「仏法がジワッと浸みる。一人ひとりが親鸞聖人の門徒として歩みを共にする大切なご縁となる行事でした」と話していました。詳細は別院HPにて。(芸備組浄見寺 南正純)



お寺のはてなワード①

？お寺に行っても

作法や言葉が難しい。

？お経の意味が分からない？

？そもそも、読み方も???



お寺の世界は不思議な専門用語であふれています。このコーナーでは、そんなイメージでダイブなお寺の世界を言葉を通して探検します。

○宗祖(しゅうそ)？

宗教・宗派を興した人のことで、開祖(かいそ)、祖師(そし)、御開山(ごかいさん)とも言います。

たとえば、天台宗では最澄(伝教大師)、真言宗では空海(弘法大師)、そして浄土真宗の宗祖は親鸞聖人です。

○御遠忌(ごえんき)？

御遠忌とは各宗派の宗祖をはじめとする重要な方の百回忌以上の御法事で、五十年ごとに大切に勤められます。(宗派によつては「ごおんき」と発音したり、「大遠忌」とも言います。)

真宗大谷派では、宗祖親鸞聖人の七百五十回御遠忌法要を二〇一一年に本山の真宗本廟(東本願寺)で勤めました。

山陽教区では二〇一四年十月に姫路と広島の二別院で勤めます。

御遠忌法要のお知らせ

広島別院・山陽教区同朋会館広島は左記の通り来年十月に宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要を勤めます。法要は真宗大谷派大谷暢顯門首御親修のもと、広島別院と教区同朋会館の落慶法要を併せて、二日間勤めます。法要雅楽を交えた約四十名の僧侶による荘厳で華やかな大法要です。

参拝方法については詳細が決まり次第、お知らせいたしますが、別院にご縁のある皆様には五十年に一度のこの機会に是非ともお参りください。

『教区同朋会館・広島別院落慶法要』

【期日】二。一四年十月二日 午後一時～

『山陽教区・広島別院』

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌法要』

【期日】二。一四年十月三日 午前九時半～

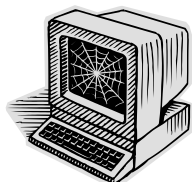


編集後記

ホームページはじまりました

この度、広島別院ではホームページを開設しました。まずは建設の進捗状況をパラパラ動画で。その他、別院の歴史や地域の行事・大谷派寺院情報など。

今後は別院行事や法話会の情報などをお知らせいたします。少しずつではありますが、内容を充実していきますので、皆様のアクセスをお待ちしています@



二〇〇八年四月・姫路の別院にて勤められた親鸞聖人御遠忌お待ち受け同朋大会の様子

真宗大谷派(東本願寺)広島別院 明信院

〒730-0044 広島市中区宝町 4-16

Tel 082-241-5342

【HP アドレス】

<http://www.ac.auone-net.jp/~hirobetu/>